

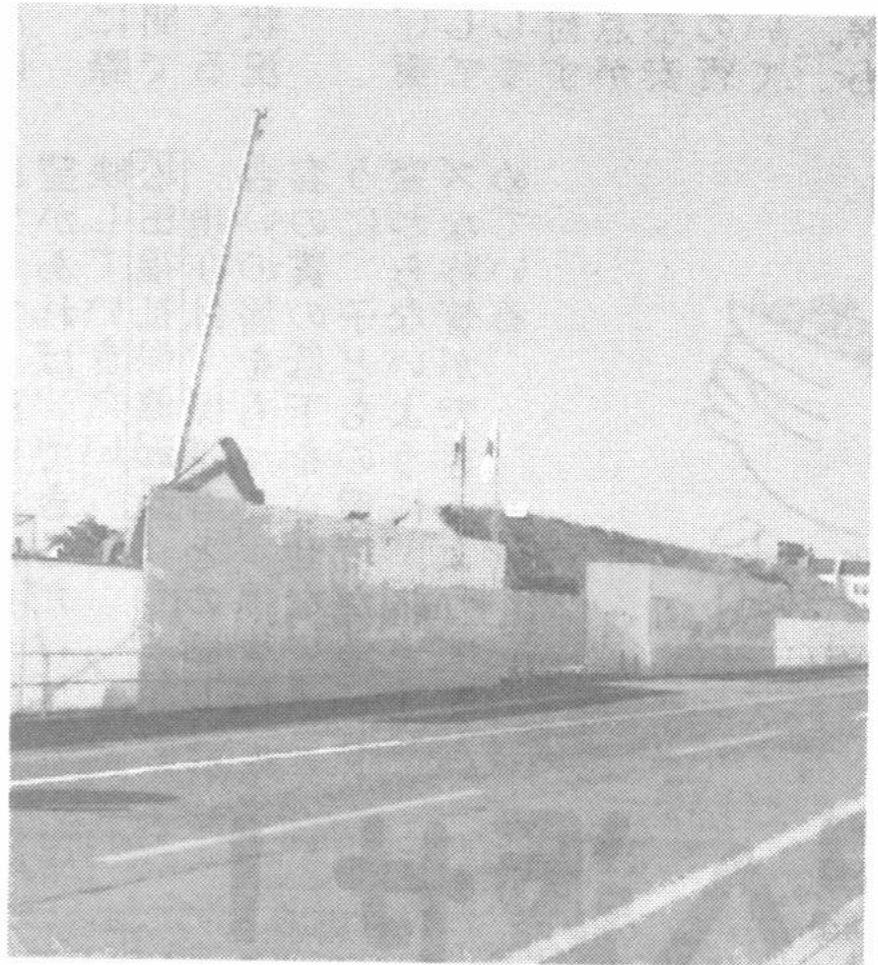


通学・保育、切実な要求の実現をせまる!

貯木場踏切の通行の安全対策は待ったなし

吉田議員

スーパースーパーセンターオークワ桜井店(仮称)が、来年3月24日の開店に向けて、建設工事が進められている。オークワ店竣工と同時に、出入り車両の騒音、排気ガスに起因する大気汚染、交通渋滞など、周辺地域の生活環境が一変する。踏切を利用する児童や高齢者にとっては、大変危険な踏切となってしまう。市長に尋ねるが、大規模小売店舗を設置するものが、周辺地域の生活環境の保持をはかるうえで、配慮すべき施設の設置および運営方法の事項について、県も市が定められている。



着々と進む工事

進まぬ安全対策



谷奥市長

道路整備について市長の再度の答弁を求めている。歩道の安全確保の観点からJR関係には合意を得ているが、隣接する土地に道路幅の範囲及び、それにもない生じる底地関係、また補償面等の諸条件をある程度説明し回答を待っている状況である。大型店舗進出にもなう手続等について、市と市関係部の意見を集約し、県の土地利用調整会議には、開発事業者に対して、生活環境の関連法案の遵守及び、適切な処理をおこなうよう指導しているところである。

吉田議員

貯木場踏切東側の交差点に点滅式信号機の設置を



先日、栗殿公民館で議会報告会をおこなったときに、貯木場踏切東側の最初の交差点に点滅式の信号機を設置してほしいという強い要望が出された。この交差点は、栗殿木挽町から通学する児童の通学路になっている。18名の児童が交差点を横断する。大型店の出店にもない車の通行量が多くなると、交差点を横断するのにも大変な危険がともなう。市としても警察当局とも協議をして、設置にとりくんでもらいたい。

良県警察本部の設置の管理は奈良県警察本部がおこなう。信号機の設置も望まれている。市として大型店の建設に、危険も交通量の増加など、危険も交通安全対策につとめる必要が大きい。桜井警察署と連携をとり、

